

# 湖南高校だより

## 総合探究成果発表会開催

# 実践・発表・継承 新たな探究の仕組み

### 直近のスケジュール

- 7月12日(金) 校内ビブリオ大会
- 7月12日(金) 第2回学校運営協議会
- 7月18日(木) 球技大会
- 7月19日(金) 1学期終業式
- 7月25日(木) 中学生1日体験入学
- 8月2日(金) 蕎麦プロジェクト(種まき)

四月から今年度の「総合的な探究の時間」が始まりました。今年度は、探究活動のメインである二年生と、指導役として入った三年生が「取組の継承」と「新たなカダイの発見」に向け、ともに探究活動を進めてきました。また、一年生は、「地域カダイ探究」として湖南地区の現状と課題について探究を行ってきました。

六月十三日(木)、総合的な探究の時間の成果発表会が行われ、今回は、初めて地域の方々や、総合探究の授業でお世話になった方々を招いての開催となりました。

一年生は、今年始まったから現在まで取り組んできた湖南町の現状と課題についてポスターセッションで報告しました。各班で湖南町の魅力、課題、これから取り組んでいきたいことなどについて報告していききました。

二・三年生は、「つたえる」「つたえる」の三つの班に分かれて、三年生による昨年度からの活動報告を行い、二年生は今後の決意と実施計画について発表を行いました。

「つくる班」では、去年までおこなってきた湖南町に伝わる郷土料理づくりの中から、かりんとうをピックアップして、報告がおこなわれました。発表では苦労話や課題などが語られました。「つたえる班」では、

### 米粉大作戦 交流会・田植え

今年度の「米粉大作戦」がいよいよ始動しました。それに伴い、城北埼玉高等学校との交流も始まりました。

一年生は初めての交流であるため、城北埼玉高校生の皆さんと五月十六日(木)にオンラインにてアイスブレイクを行いました。城北埼玉の代表生徒が全体会で趣旨説明を行ったあと、事前に班分けをしていた生徒各々が、タブレット越しにア

イスブレイクに取組みました。生徒からは「オンラインではほかの学校と交流するとう、中学校では体験できなかったことができた。」「初めて画面を通して話したが、思った以上に楽しく話せた」などの感想が聞かれました。

そして、五月二十八日(火)、城北埼玉高校の生徒・教職員の皆さんが来校しました。当日は、朝から雨が降り、残念ながら田植えをすることができず、両校の交流会を実施しました。

行立 学校  
島野 高等  
福南 長  
湖南 校

勉明 協  
勤聡 協  
実高 律  
誠志 自



三年生が昨年度取り組んできた湖南町の民話の伝承について報告を行い、続いて今年度の二年生が、新たな取り組みとしてこれからの継承について報告を行いました。

「つたえる班」では、湖南町の観光をテーマにしたパンフレット作りを進めてきました。そして完成したパンフレットのお披露目がなされました。ユニークな発表や完成度の高いパンフレットは好評で、更なる発展に期待が高まりました。

地域の方からの意見も多くあり、非常に勢いある発表会となりました。

## 大会報告

### ソフトテニス部

五月十日(金)から三日間、郡山庭球場にて行われた第七十回福島県高等学校体育大会県中地区大会に出場してきました。残念ながら個人戦・団体戦とも県大会出場は叶いませんでした。

この大会にて引退となった部長の渡辺太一さん(逢瀬中出身)は「部長の指示出しなど大変でしたが、なんとか乗り切ることができました。三年間の最後の大会に向けて練習をしてきましたが、惜しくも負けてしまいました。しかし、悔いが残らない試合ができたと思います。顧問の先生方からの支えがあったことも感謝しています。」と三年間の想いを述べていました。

また六月十二日(水)から二日間、福島県総合スポーツ大会県中地区予選に出場しました。結果は団体戦で一勝することができました。今後県大会出場に向けて成長していきたいと思えます。

開会式では、講師の阿部敏満様より稲の生育などについての講話をいただきました。また城北埼玉高校との交流も三年目となった記念に左利き用の蕎麦包丁が本校に贈呈されました。レクリエー



ションでは学年ごとに分かれ、体育館にて「協力型バレーボール」・「視聴覚室にて「多数決ゲーム」や「湖南町にまつわる〇×クイズ」を実施しました。レクリエーションを通して両校の仲がさらに深まり、とても充実した時間を過ごすことができました。

翌日から二日間、あいにく雨のために実施できなかった田植えを一・二年生の有志生徒や教員が行ってくれました。最後に、今年も米の生育観察を二年生の指導のもと

## ボート部

五月二十五日(土)から二日間、喜多方市荻野漕艇場にて開催された、第七十回福島県高等学校体育大会ローイング競技に参加してきました。男子シングルスカルにて、影山康太さん(湖南小中出身)、女子シングルスカルにて、藤原明音さん(郡山一中出身)がそれぞれ準決勝に進出しました。

また、六月八日(土)から二日間、第七十七回福島県総合スポーツ大会ローイング競技に出場してきました。男子シングルスカルでは、影山康太さん、大山結央さん(湖南小中出身)が準決勝に進出しました。女子シングルスカルでは、藤原明音さんが準決勝に進出しました。



五月二日(木)、春の恒例行事である「春の遠足」が行われました。新型コロナウイルスの影響で、この数年は距離を短縮して猪苗代湖山浜や青松浜までの実施でしたが、四年ぶりに本来の形である館浜までの往復約十五キロを歩く春の遠足となりました。

当日は天気にも恵まれ、快晴の空の下、初夏の優しい風に吹かれて舞い落ちる山桜の花びら、集落を隔てて体力を消耗させる峠道、磐梯山の眺めが素晴らしい湖岸の道など、湖南ならではの自然を五感で味わいながら歩きました。

館浜では、郡山市と行政区の理解を得て、キャンプ場を利用させて頂いていただきました。生徒たちは各班で準備した食材を用いて工夫を凝らした料理やバーベキューを楽しんだり、湖で水遊びをしたりするなど、親睦を深めていました。



で進めることを確認し、二日間の田植えが終了しました。

秋こそは、城北埼玉の仲間と皆さんとともに、稲の手刈りを行いたいと思います。

## 春の遠足

五月九日(木)、一年生が毎年恒例の「ぐるっと湖南」に行ってきました。天気が心配されましたが、特に雨が降ることもなく、絶好の研修日和となりました。

当日は、「ぐるっと湖南伝承会」の大内紀男様、西田忍様に案内していただき、湖南の史跡・文化財等について学ぶことができました。また、西田様には、各名所にまつわる民話も語っていただきました。今年度の一年生は二十五人と例年より人数が多く、講師の皆様からも「とても元気があっていい」とお褒めの言葉をいただきました。

今年新たに加わった研修先に「木地師の里資料館」があります。実は湖南町三代の中ノ入地区には、地元の方の尽力により守られているブナの原生林が広がり、推定樹齢三百年の不動ブナや不動滝までの遊歩道が整備されています。今回は資料館での説明を聞くことができました。

今回の研修を通して湖南町の文化や歴史について、さらに深く知ることができました。



## ぐるっと湖南

四月より、放課後学習会「夕暮!! 湖南塾」が開講されました。

昨年度までは、一・二学期に二週間程度の放課後学習会「フオロアップ学習会」を行ってまいりました。

今年度は、通年で学び直しの放課後学習会を行い、国語・数学・英語の三教科で基礎力の定着と向上を目指します。中間考査を除き、開始から二か月程が経ちますが、受講対象の生徒だけでなく自主的に参加する生徒もおり、熱心に学習する様子が見られます。

猪苗代子

五月二日(木)、春の恒例行事である「春の遠足」が行われました。新型コロナウイルスの影響で、この数年は距離を短縮して猪苗代湖山浜や青松浜までの実施でしたが、四年ぶりに本来の形である館浜までの往復約十五キロを歩く春の遠足となりました。

当日は天気にも恵まれ、快晴の空の下、初夏の優しい風に吹かれて舞い落ちる山桜の花びら、集落を隔てて体力を消耗させる峠道、磐梯山の眺めが素晴らしい湖岸の道など、湖南ならではの自然を五感で味わいながら歩きました。



**KONAN**

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃおう』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと思っています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡ください。

『湖南高校公式』  
Instagram  
はこちら

## 編集後記

四月より、放課後学習会「夕暮!! 湖南塾」が開講されました。

昨年度までは、一・二学期に二週間程度の放課後学習会「フオロアップ学習会」を行ってまいりました。

今年度は、通年で学び直しの放課後学習会を行い、国語・数学・英語の三教科で基礎力の定着と向上を目指します。中間考査を除き、開始から二か月程が経ちますが、受講対象の生徒だけでなく自主的に参加する生徒もおり、熱心に学習する様子が見られます。

猪苗代子